

自分らしい最期を迎えるために

考えておきたいこと

～ 人生会議って何? ～



厚生労働省は、2018年11月30日に、もしもの時のためにあなたが望む医療やケアについて家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合う取り組み、「ACP(アドバンス・ケア・プランニング)」の愛称を「人生会議」としました。また、11月30日(いいみとり・みとられ)を「人生会議の日」とし人生の最終段階における医療・ケアについて考える日としました。しかし、ACP(人生会議)という言葉が言われて5年が経ちますが、なかなか広く周知されていないのが現状です。

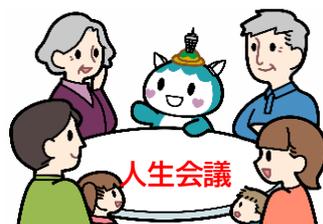
「人生の最期を我が家で迎えたい、家族みんなと一緒にいたい」そういったご自身の思いを家族と話し合っておくことで、病院でなく自宅などで治療を行う在宅医療が選択できます。

今回、3000人の終末期に寄り添った緩和ケア医である先生に、「自分らしい最期を迎えるために考えておきたいこと」と題してお話をさせていただきます。

著書・緩和ケア医から、ひとりで死ぬのだって大丈夫 (朝日新聞出版)

・みんなで支える終末期のケア 人生の締めくくりをその人らしく (技術評論社)

・今日も、「いのちの小さな奇跡」を見つめて (大和出版) など



講師 奥野 滋子 医師

医療法人長谷川会 湘南ホスピタル

順天堂大学大学院医学研究科 客員准教授

日時 2024年(令和6年)2月3日(土曜日)

10:00~11:30 (受付9:30~)

場所 辻堂公民館 3階ホール



辻堂駅南口又は藤沢駅北口から辻堂団地行き高砂小学校前下車・辻堂駅から徒歩16分
(駐車台数が限られるため、公共交通機関のご利用をお願いします。)

申込: 電話又はFAXで藤沢市医師会在宅医療支援センターへ

電話: 0466-41-9980 FAX: 0466-41-9981

*お名前とお電話番号をお知らせください。

申込締切: 1月26日(金)まで

定員: 60名(先着)

令和5年度藤沢市委託事業

